

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## EUのロシア産禁輸案で堅調

NY原油先物相場は、1バレル=110ドル水準まで値上がりする展開になった。「需要不安」と「供給不安」が交錯する中で不安定な値動きが続いていたが、欧州連合（EU）がロシア産原油の禁輸方針を打ち出したことで、需給ひっ迫懸念から上値追いの展開になった。5月5日の石油輸出国機構（OPEC）プラス会合で、特段の対応が講じられなかったこともポジティブ。3月28日以来の高値を更新している。

EUの欧州委員会は5月4日、ウクライナへの軍事侵攻を続けるロシアに対する追加制裁案として、年末までにロシア産原油を禁輸する方針を打ち出した。国内経済へのダメージの大きさから慎重だったドイツが賛成に回ったことで、禁輸措置に動いている。ハンガリーとスロバキアに対しては2024年末、チェコに対しては24年6月までの猶予期間が設定されているが、欧州の「脱ロシアが」が加速することが、国際原油需給を一段と不安定化させるとの見方が、原油相場を押し上げている。根強い需要不安から急騰対応はみられなかったが、最近のボックス上限を上抜く展開になっている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月29日時点）は、原油が前週比130万バレル増、ガソリンが223万バレル減、石油精製品が234万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## EUのロシア産禁輸だと底固い、中国需要環境への警戒は続く

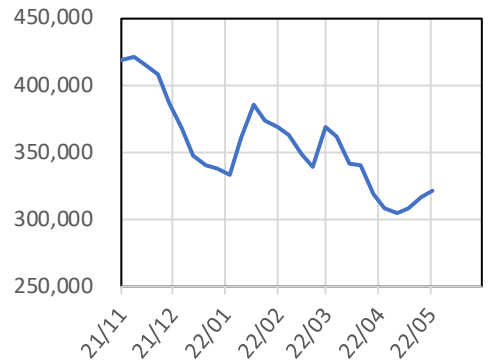
EUのロシア産原油に対する禁輸案を受けて、底固い展開が想定される。同制裁案が成立すれば、欧州はロシア産原油の調達削減を急ピッチに進める必要があり、今後数か月で国際原油需給バランスは大きく歪むことになる。OPECプラスは5月に続いて6月も日量43.2万バレルの増産対応に留めることを決定しており、ロシア産の代替供給先を確保できる目途は立っていない。

ただEUの対ロシア制裁案は全会一致の賛成が求められる一方、ハンガリー首相は6日、禁輸措置は「一線を越えた」と批判しており、協議は難航する可能性がある。仮に合意に達することができない場合には、前週の堅調地合の反動から急反落するリスクを抱えていることには注意が求められる。欧州委員会は、ハンガリーの猶予期間を当初案の2023年末から24年末に修正しているが、ハンガリーは5年間の猶予期間が必要と主張している。制裁案が正式に決定されるかは、まだ不透明感が残されている。

一方、中国の需要環境は厳しさを増している。「ゼロ・コロナ」政策が有効に機能しておらず、ロックダウン（都市封鎖）など行動規制の長期化、範囲拡大が警戒されている。非鉄金属市場などは需要不安の織り込みを続けており、更に中国経済の減速懸念が一段と強まると、調整売りが膨らむ可能性は残されている。

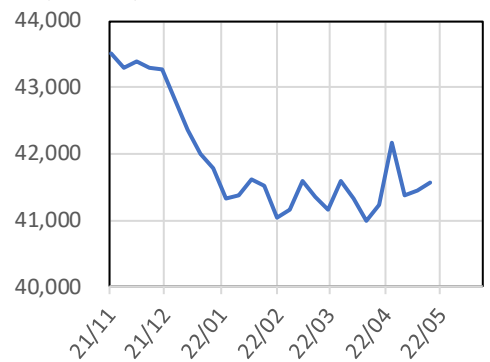
5月3～4日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、インフレ対応で0.50%の利上げが決定された。強力な金融引き締めが展開されること、米金利上昇・ドル高傾向が維持されると、株価同様に原油相場の上値も圧迫される可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



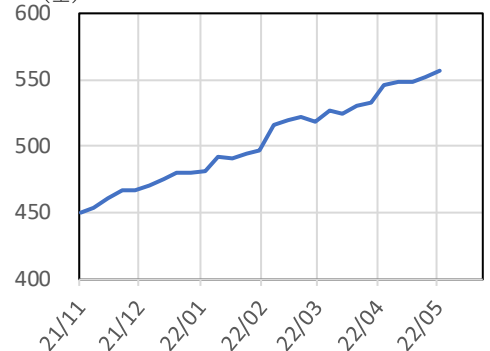
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

